

令和4年度学校評価実施計画

学校名	大分県立大分舞鶴高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要	<p>○これからの社会を主体的にたくましく生きる力を生徒に育成するための教育活動が、これまで以上に組織的かつ計画的に行われるよう中期目標、重点目標を、育成を目指す資質・能力の三つの柱と対応したものとし、併せて重点的取組と取組指標を焦点化することで分析、評価、改善が効果的に行われるよう配意して年度の学校評価を行ってきた。</p> <p>○今年度から導入された1人1台端末を学校の諸活動で効果的に活用する力を育成するとの重点目標は、関係するPL,SLの取り組みにより一定の成果を上げており、これをさらに推進するための次年度の取り組みが求められる。</p> <p>○学校全体でSSHに取り組む本校ではグローバルリズムの涵養と課題発見・解決能力の育成が喫緊の課題であるが、改善の余地が大きく、次年度は取組内容の一層の充実はもとよりこれまでの取組の成果の検証を適切に行うことが必要である。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
舞鶴魂「生まれ、がんばれ、ねばれ、おしきれ」を体現する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究に向けた強固な学びの基礎づくり ○ 自ら問いを立てて、探究する力の育成 ○ 何事にも粘り強く取り組む態度の向上 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒のICTを活用する力の向上 2. 生徒の課題発見・解決能力の向上 3. 生徒の主体性、協働性の向上 4. 生徒のマネジメント力の向上

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1. 生徒のICTを活用する力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◇生徒アンケートにおいてICT活用に関する項目に肯定的に回答する生徒の割合90%以上[年間評価段階] ◇活動メモや学びのデータの記録を効果的に活用できている生徒の割合90%以上[年間評価段階] 	(1)単元全体を見通して1人1台端末を効果的に活用する授業実践	○スクールプランに基づく校内授業研究週間(年3回:5月、10月、3月)により1人1台端末を用いた授業構想を実践した教員100%	PL 指導教諭 SL ICT推進 各教科
		(2)部活動、学校行事等でのICTの活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○EdTech教材を活用し、育成を目指す資質・能力について評価するための研修を年間2回(6月、11月)実施。 ○ICTを活用した活動メモや学びのデータを踏まえた面談・家庭訪問実施(7月、9月) 	PL 特別活動 SL ICT推進 各学年
2. 生徒の課題発見・解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◇「課題発見・解決能力が高まっていると感じる」生徒の割合90%以上 ◇「留学や海外と関わる仕事への興味が増す」生徒の割合70%以上 	(1)理数科・普通科併設を活かした学びのSTEAM化	○学校設定科目SSH探究、舞STEAMsの運営会議(年間12回)、授業担当者会議(週1回)により、生徒に育成を目指す資質・能力が身についたと感じる教員の割合100%	PL 理数科・SSH推進 SL 各学年
		(2)教養を磨きキラリと光る特性を伸ばす取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○法定研修対象者による学校図書館を活用した公開授業3回実施 ○オンライン等による国際交流(年間:10月、12月、1月)で生徒の主体的な取り組みを促した担当教員の割合100% 	PL 総務・SSH推進 SL 教務
3. 生徒の主体性、協働性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◇「進路に関することや自分の興味・関心のある情報を自ら集める」生徒(1,2年生)の割合70%以上[年間評価段階] ◇「体育の授業に主体的に取り組む」生徒の割合90%以上 	(1)10年後の姿を明確化し、自分を磨くキャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が記載するキャリアノート等を参考として面談や生徒への働きかけができた担任の割合100% ○企業人・大学教授等による放課後ミニキャリア講座の年間実施回数10回 	PL 進路指導 SL 特別活動
		(2)生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○一校一実践(持久力を高めるための5分間走)の通年実施 ○全生徒を対象としたICTを活用したラグビーの授業実施(5時間程度) 	PL 体育科 SL ICT推進
4. 生徒のマネジメント力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◇「舞鶴高校では自分で考えて行動する機会が多いと感じる」生徒の割合70%以上 ◇「自他を大切にしようとする」生徒の割合90%以上 	(1)教員による働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークスマートデイの実施(年間12回)により働き方改革が進んだ教員の割合100% ○生徒への働きかけ方(コーチング等)に関する研修の実施により生徒との関りが変容した教員の割合100% 	PL 主幹教諭 SL 保健・人権教育 各学年
		(2)安全・安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケート(年3回)に基づく生徒支援ができた教員の割合100% ○交通指導(年6回)等を通して安全教育を推進した教員の割合100% 	PL 生徒指導 SL 各学年